

# 水土里情報活用ニュース・レター

第136号

## 目次

1. 地理情報システムの活用による土地改良区業務の  
効率化(宮城県) … 1
2. 土地改良施設情報のGIS化と土地改良施設台帳整備  
(茨城県) … 3
3. ほ場整備事業におけるGISの活用(新潟県) … 5
4. 水土里情報システムにおける農業水利施設情報の  
一元管理(鳥取県) … 7
5. モバイル版クラウド水土里情報システムを活用した  
ため池緊急点検調査(福岡県) … 9

### ■お問い合わせ先(全体)

農村振興局設計課計画調整室 長期計画班 三田村、沖 (電話番号) 03-6744-2201

# モバイル版クラウド水土里情報システムを活用した、ため池緊急点検調査

今回紹介する団体: 福岡県、水土里ネット福岡

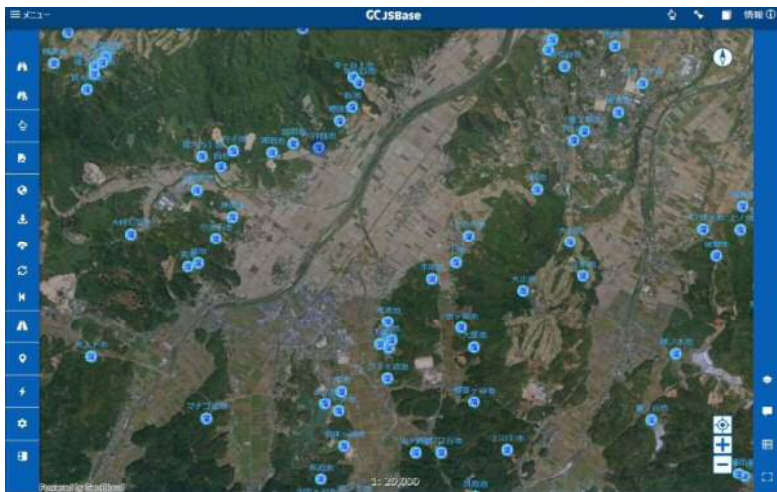
## 取組概要

内容: 平成30年7月から8月に実施した福岡県内のため池緊急一斉点検で、モバイル版クラウド水土里情報システム(以下、「モバイルGIS」という)の活用による現地調査の効率化を図った。

経緯: ①平成30年7月豪雨では、多くのため池において甚大な被害が発生したことから、更なる豪雨や台風等に備えて、ため池の緊急一斉点検を実施することとなった。

②特に被害が多かった福岡県では、7月19日から8月末にかけて国の協力のもと、県、市町村等の技術系職員により、県内3,951か所のため池の緊急点検を実施した。

③水土里ネット福岡では、山地に位置し、進入路が不明なため池が県内に多いことから、効率的にため池への移動経路を検索する手段として、モバイルGISの活用を福岡県に提案した。



(ため池位置情報: PC版画面)



(モバイル版画面)



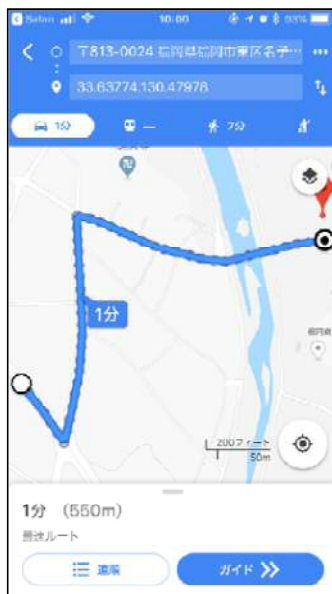
(URL入力はQRコードを活用)

都道府県名	緊急点検を実施したため池	今後の豪雨や台風等に備えて応急措置が必要と判断されたため池
全国	88,133か所	1,540か所
福岡県	3,951か所	129か所

## 取組による効果



(ルート検索)



(google連携ルート検索)



(google連携ストリートビュー)

①活用したモバイルGISは、様々な端末(iPhone・Android等)に対応しており、今回の様な短期間で多数のモバイル端末が必要なケースでも、個人が所有するモバイル端末を利用することにより、リアルタイムにため池位置情報が共有できた。

②さらに、モバイルGISを利用することで、現地の土地勘のない技術者においても、自分がいる位置(現在地)とため池との位置関係を容易に把握するとともに、グーグル・マップと連動させたため池までの移動経路検索を利用することにより、効率的な現地調査が実施できた。

## 今後の活用予定

今回活用したモバイルGISは、まだ試行運用中であるが、災害調査の効率化に貢献。今後は、土地改良施設管理、荒廃農地、中山間直接支払、多面的機能支払交付金及び作付作物調査等、現地調査業務で活用できるように、モバイルGIS上での属性編集機能の追加を行ない、本年度中の実用化を図る予定。

## GISシステムのバージョン情報

GISアプリ : F-cloud:2.1.1

GISエンジン: GeoConic 6.0. JS:1.0.1

### ■お問い合わせ先

福岡県土地改良事業団体連合会 総務部情報管理課

092-642-1893 (直通)